

蚕影山附近の植物と呼び名

柳 沢 新 一

長野県小県郡真田町戸沢の蚕影山を中心とする田圃・山の斜面（海拔700m内外）には色々の野草や樹木が生育していて、関東や東京の植物とは異ったものが多い。

1) 蚕影山附近の植物

蚕影山に登る途中の路傍や林内にはシュンラン・ヤマブキ・ヤマツツジ・クサボケ・アヤメ・イチリンソウ・ハハコグサが見られ、ケヤキ・カラマツ・アカマツ、植栽のスギが育ち、タラノキは岩まじりの第三紀層地帯にはえている。

山麓のセイグチ附近の斜面にはヤマオダマキ・センボンヤリ・オキナグサ・ノイバラ・ウツギ・イワレンゲや、ガマズミ・エビズル・アケビ・ウメモドキ・ズミ等の実がなるものがある。神川に沿ったイチメン岩附近にはカワラナデシコ・キキョウ・ワレモコウ・オミナエシ・クズがあり、オニグルミ・マダケ・メダケの林がある。神川の分流水田辺にはウキクサ・クワイ・ヨシ・オランダガラシが見られ、附近にはチカラシバ・アカソ・ツタ・タケニグサが生育している。

長生橋を渡った水田地帯の向いにはセリ・ミツバ・ニラ・ハッカ・ヤブカンゾウ・スミレ・エゾタンポポが育っている。

戸沢部落はいった住宅附近にはノキシノブ・ハコベ・カタバミ・ヤマホタルブクロ・ノボロギク・スベリヒユ・ヘビイチゴ、エノコログサ・メヒシバ・オニタビラコ等が生育している。

2) 戸沢附近での植物の呼び名

真田町戸沢附近での植物の呼び名と和名（括弧内）を記すと次のようである。

ガイロッパ（オオバコ） アメフリバナ（ヤマホタルブクロ） ホタルグサ（ツメクサ） クジナ（タンポポ） スベリヒョウ（スベリヒユ） スイコシ（スイバ） チョウチンバナ（ケマンソウ） ウマズイコ（ギシギシ） モチグサ（ヨモギ） キイチゴ（ナワシロイチゴ） チチグサ（ジシバリ） アマナ（ヤブカンゾウ） イタコン（イタドリ） オニゼリ（ドクゼリ） タンビョウ（スズメノテッポウ） ネコバアサン（エノコログサ） エビ（エビズル） カンロバイ（コケモモ） イシガラミ（ツタ） ジナシ（クサボケ） イヌノチンボウ（カワラマツバ） ネコノツメ（イワレンゲ） オンナタケ（メダケ） バンカゼリ（オランダガラシ） ネズミバラ（ネズ） ユアマツ（イワビバ） ツバナ（チガヤ） フキッタマ（フキノトウ） ショウナメ（ヌルデ） カヤ（ススキ） アオイ（フヨウ・ゼラニウム・タチアオイ） マルメロ（カリン） ダルマソウ（デージー） アズマギク（エゾギク） ハイトリバナ（ムシトリナデシコ） コウバイ（オオバイ） チョロイモ（チヨロギ）

文 献

宇都宮貞子（1970）草木ノート （1972）草木覚書 読売新聞社